



## 「黒島流れ」を忘れない 慰霊と感謝の航海 ～枕崎少年の船

■枕崎少年の船が5月15日に行われ、児童・生徒や一般参加者など合わせて約110人が参加しました。少年の船は、明治28年に起こった枕崎の海難史上最大の悲劇といわれる「黒島流れ」と、懸命に救出に当たった黒島住民の温かさを語り継ぐと、昭和56年に始まりました。参加者は村営船「みしま」に乗船、黒島沖で洋上慰霊祭を行ったあと、黒島に上陸し地元小・中学生とジャンプで交流をしました。



立神小学校 1年生

## 力合わせて咲かせよう「人権の花」 ～立神小学校に「人権の花」を贈呈

■立神小学校で5月20日、「人権の花」開校式が行われ鹿児島地方務局知覧支局長からヒマワリの種やプランターなどの目録が児童代表に手渡されました。「人権の花」運動は、人権啓発の一環として、法務省、全国人権擁護委員連合会で実施されており、花を栽培し観察することで、児童の心を豊かにし人権に対する理解を深めることを目的に行われています。

## 大震災の復興願いチャリティーコンサート ～第5回枕崎ミュージックフェスティバル

■枕崎ミュージックフェスティバルが5月22日、市民会館であり、今回は、東日本大震災の復興を願うチャリティーコンサートとして開催されました。

みやまコンセール所属のバリトン歌手の瀬戸口浩さん(写真右)やNHK鹿児島児童合唱団、市内外の音楽家も多数出演したほか、チャリティーコンサートの趣旨に賛同した世界的なテノール歌手のボウジンゾンさん(写真左)も出演しました。最後は会場の全員で被災地の日も早い復興を願い「見上げてごらん夜の星を」を歌いました。



## 日本一「枕崎のかつお節」を学び味わう ～枕崎中学校生徒が職場体験

■枕崎中学校2年生46人が5月9日、枕崎水産加工業協同組合で職場体験学習を行い、「かつお節」について学びました。同組合職員の指導のもと、ビデオや資料でかつお節について学んだあと、味噌汁作りに挑戦。自分たちで削ったたっぶりのかつお節でダシをとりました。

田中祐己くんは「自分で削ったかつお節でとったダシの味は格別だった」と話してくれました。



桜山中学校の生徒が手摘み収穫したお茶「なん茶っティー」は今年も大好評

## がんばろう日本！大震災復興支援 こどもの日かつおまつり

■「こどもの日かつおまつり」が5月4・5日、会場センター周辺で行われ、来場者は、恒例のかつお一本釣り大会やかつお節削り大会などを楽しみました。今回は「がんばろう日本！大震災復興支援」と銘打ち開催され、来場者から多くの義援金が寄せられたほか、東北地方の名産品の販売などもあり、大震災復興を支援・祈念する機会となりました。



3月に行われた「子ども版枕崎カツオマイスター検定」成績優秀者を表彰

## 野球少年の<sup>はつらつ</sup>湧刺プレーに大歓声 ～第31回全日本学童軟式野球大会県予選大会

■全日本学童軟式野球大会県予選大会が5月3・4日、市営球場などで開催され、県内各支部からの代表16チームが熱戦を繰り広げました。開会式では、枕崎支部代表として出場した立神野球スポーツ少年団のキャプテン、小畑開くん(立神小6年)が「東日本大震災で大好きな野球ができない仲間たちのために一生懸命プレーし、僕たちを支えてくれるすべての人に野球ができることを感謝し試合することを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

立神野球スポーツ少年団は、2回戦で優勝した財部JSに惜しくも敗れはしたものの、湧刺としたプレーに会場からは大歓声が送られていました。



## 32茶工場が結束 安心と信頼のK-GAP取得 ～枕崎市茶業協議会K-GAP推進部 K-GAP認証証書授与式

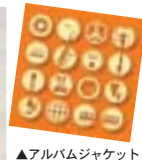
■枕崎市茶業協議会の32茶工場で構成するK-GAP推進部会(籠原謙次部会長)が「かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)」を取得、その認証証書授与式が5月19日、市内ホテルで行われました。

K-GAPとは、鹿児島県産の農林水産物に対する消費者の安心と信頼を確保するため、安心と安全を考えた基準に基づき生産工程を管理する農家の取り組みを鹿児島県農業・農村振興協会が審査・認証するものです。

籠原部会長は「今後も力を合わせて、より安全・安心でおいしい枕崎茶を提供できるよう努力していきたい」と話していました。



南浜館定期コンサート・アルバム全国発売記念ライブ「BONDX」のみなさん



▲アルバムジャケット

●投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。 総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

We LOVE MAKURAZAKI